

Good Time, So Good Space.

すごしかたファースト。



鈴野浩一さん(右端)と保川真由佳さん、田中 修さん。

トラフ建築設計事務所・鈴野浩一さんに聞く、 これからの住まい方

「すごしかたファースト」というコンセプトの下、住まいの新たな価値を提案し続けるコスモスインシア。同社で商品企画を担当する保川真由佳さんと建築設計を担当する田中 修さんが、トラフ建築設計事務所の鈴野浩一さんを訪問。これからの住まい方について聞いた。

鈴野浩一／1973年神奈川県生まれ。96年東京理科大学工学部建築学科卒業。98年横浜国立大学大学院工学部建築学専攻修士課程修了。98～2001年シーラカンスK&H 勤務。02～03年Kerstin Thompson Architects 勤務。04年禿真哉と共にトラフ建築設計事務所を設立。05～08年東京理科大学非常勤講師、08～12年昭和女子大学非常勤講師、10～11年共立女子大学非常勤講師、10年～武蔵野美術大学非常勤講師、12年～多摩美術大学非常勤講師、14年～京都精華大学客員教授を務める。
http://torafu.com

機能に縛られない住まいの魅力

保川 私たちが提案する新しい空間のベースにあるのは、住む人の心地良さです。コスモスインシアのメインブランド「INITIA」は、時間の過ごし方に重点を置いて新しい住宅づくりに取り組んでいます。毎日を過ごす空間の中で、満足感というのは物の充実感ではなく、過ごし方そのものが大切だと考えてきました。

鈴野 「井の頭の住宅」は社宅だったマンションの1室をリノベーションしたケースです。解体して現れたコンクリートを全体的に活かしたワンルームタイプになっています。集合住宅では、例えば、風呂の大きさは決まってしまうよね。でも、浴槽はほんの5cmでも広くなると足が伸ばせて気持ちいい。だから、廊下と風呂を仕切る壁を7mm厚の薄い鉄板でつくりました。そうすることで、少しでも広い風呂が設置できます。その他、リビングルームの開口部に天井からのパーティカルのブラインドを採用して上

には照明を仕込むなどの工夫もしています。

田中 開口部が大きく見える効果がありますね。天井も高く感じられます。少しの工夫で空間の心地良さが大きく変わるケースは数多くあると思います。最近の住宅の傾向として何か特徴的なところはありますか。

鈴野 やはり昔は、部屋が使い方を縛っていたところがあると思います。仏間とか書斎とか子供部屋とか……。現実には、子供が小さいころには子供部屋で過ごす時間は少ないし、寝室があっても家族みんなで一緒に寝ていたりする。それに今ではスマートフォンやタブレットを使って居間で仕事することも多いので、部屋に縛られなくなっていますよね。僕らがデザインした「コロロデスク」のように、家具自体が小さな部屋として機能することもある。全体を明確に仕切らない空間が求められていると感じます。

保川 私たちも「オープン」というコンセプトで

表現しているように、あらかじめ決められた用途に縛られず、フレキシブルに広がる空間には魅力がありますね。

ゆるやかにつながる空間

鈴野 建て壊し寸前だったビルをリノベーションした「目黒本町の家」は、地下1階地上3階建ての古いビルでした。外階段しかありませんでしたが、2階と3階をオーナーの住宅にしたいので床に穴を開け、そこに階段をつくりました。大きな箱を置いたような階段です。箱形にすることによって四方に空間が生まれましたし、さらに箱の上の場所も使えるんです。お子さんがまだ小さかったので、階段へ上る途中のその場所がお気に入りになって、2階と3階を近づけてくれる2.5階みたいな存在になりました。階段が長いと行き来しなくなってしましますが、ちょっとの移動でつながると、すぐ距離感が縮まりますよね。子供が縁に足をかけて本を読んでいたりと、お父さんとお母さんの姿を眺めていたり。

田中 キューブの角面によって空間に変化が生じますし、2.5階があることで、2フロア全体がゆるやかにつながる空間に感じられます。

鈴野 ゆるくつながりながらも、あえて少し仕切っています。人はまるっきりオープンな空間だけではくつげないし疲れてしまいますから。でも、ほんのちょっと視線を遮るだけでいい。「港北の住宅」は、目の前に擁壁がある住宅密集地で朝から室内の照明をつけたくなくなるような立地でした。なので、トップライトが光を

求めるように上へと伸びていき、プライバシーも保ちます。そのために屋根がざくっと室内に入り込み、寝室やキッチンを大きく区切っているのですが、部屋として明確に仕切ってしまうと、狭くて暗くなってしまうから仕切りはありません。ダイニングとベッドの位置は近くても、実際に寝てみると顔の部分だけは壁の陰に入るので、キッチンが視界に入ってきません。視界をちょっと遮ることで居場所が感じられますよね。

保川 キッチンとダイニング空間の一体感を強めたり、皆が集まりやすいようにリビングの広さや快適性を高めたりすることで、ゆるやかにつながるという考え方は私たちも大切にしています。

住む人と成長していく

鈴野 「INITIA」では玄関を広くとっていますね。玄関に続く場所は、幅が狭いと廊下になりますが、広げてしまえばもう廊下と呼ばなくていいんじゃないかなと思います。廊下じゃない“何か”になっていますよね。30cmでもプラスのスペースや余白があることで、感じやすさの方が大きく変わってくるのではないのでしょうか。

田中 自宅へ帰ってきたときの気持ちのゆとりを生み出す場所でありたいと考えています。効率とは異なる空間の価値を感じてもらえるとうれいいですね。

保川 集合住宅において工夫の余地があると感じられる部分はありますか。



トラフ建築設計事務所「港北の住宅」
Photo by Daici Ano

鈴野 例えば、外の景色とともに楽しめるバルコニーなどでしょうか。外に対して魅力的に見えるような仕掛けがついていると、入居する人にとっても自慢できるポイントにもなりますし、マンションとしての社会貢献にもなります。

保川 街と一緒に暮らすという考え方でですね。どうしても、分譲時には完成形でなければならぬと考えてしまうのですが、住む人たちと成長していくような雰囲気は残しておきたいです。

鈴野 そうですね。どれだけ余白を残そうか、という考え方は大切です。住む人が入ることで違う空気が流れるような……。マンションという商品として考えてしまうと最初から完成形を求めたくなりますが、住む人と成長していけるような環境があればいいのかもしれない。

この対談の続きは、コスモスインシアのホームページをご覧ください。 <http://www.cosmos-direct.jp/project>



※掲載の写真はイニシア武蔵新城ハウスモデルルームsTypeを撮影(2014年7月)したものです。家具・調度品等は販売価格に含まれておりません。また、仕練は一部有償オプションを含んでおります。

コスモスインシア 創業40周年フラッグシッププロジェクト イニシア武蔵新城ハウス

40th
おかげさまで40年

本当に心地よい住まいに必要なものは何か。住まいづくりの原点とも言えるその問いに、今年創業40周年の節目を迎えたコスモスインシアがたどり着いたひとつの答え。それが「やさしいシカク」。住む方の過ごし方を考えて、リビングや居室を、自在に合わせられる凹凸のない空間にした、シンプルで、やさしくて、あたたかい居心地のいい住まいのカタチ。「イニシア武蔵新城ハウス」は新たな住まい心地を提案します。

株式会社コスモスインシア

やさしいシカク

検索

■「イニシア武蔵新城ハウス」全体概要 ●所在地／神奈川県川崎市中原区下新城3丁目615番1他2筆(地番) ●交通／JR南武線「武蔵新城」駅徒歩8分、JR南武線「武蔵中原」駅徒歩13分 ●総戸数／124戸他に管理事務室1戸 ●構造・規模／鉄筋コンクリート造地上5階建 ●敷地面積／4,521.75㎡(建築確認対象面積/分譲対象面積) ●建築面積／2,563.47㎡ ●建築延床面積／9,951.49㎡ ●用途地域／第1種中高層住居専用地域 ●竣工時期／平成27年7月下旬予定 ●入居時期／平成27年8月下旬予定 ●分譲後の権利形態／土地:専有面積割合による敷地利用権(所有権)の共有 建物:区分所有権 ●売主／株式会社コスモスインシア 宅地建物取引業者免許番号:国土交通大臣免許(11)第2361号(一社)不動産協会会員(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 東京都港区芝5-34-6 0120-515-777 ●管理会社／大和ライフネクスト株式会社 ●管理形態／管理組合結成後、大和ライフネクスト株式会社に委託(管理形態:未定) ●建築確認番号／JCIA確認13第01447号(平成26年3月7日付) ●施工会社／施工(建設、請負)ライト工業株式会社 ●駐車場／敷地内49台収容(平置2台、機械式47台) 使用料:月額未定 ●駐車場(賃貸以外の台数)／身障者用1台 使用料:無償(一時使用) ●バイク置場／8区画(0.9m×2.5m) 使用料:月額未定 ●サイクルスペース／124区画(うち39区画はバイク・原動機付自転車可) 使用料:月額未定 ●コミュニティ費用／月額100円 ●予告広告 販売概要 ●販売開始予定／平成26年10月下旬 ●販売戸数／未定 ●価格／未定 ●間取り 2LDK+S(納戸)～4LDK ●専有面積／70.08㎡～85.79㎡ ●管理費／未定 ●修繕維持積立基金／未定 ●バルコニー面積／10.98㎡・14.58㎡ ●ルーフバルコニー面積／29.90㎡・32.73㎡ ●ルーフバルコニー使用料／未定 ●テラス面積／14.15㎡～18.71㎡ ●お問い合わせ/営業時間/定休日/コスモスインシア販売準備室 0120-1248-85 10:00～18:00(夏季休業・年末年始除く) ●専有面積は壁心面積であり、登記面積は記載の専有面積より若干少くなります。予めご了承ください。 ●本物件は全体で販売するか数期で分けて販売するか確定しておらず、販売戸数が未確定のため、物件データは全販売戸数のものを表示しております。確定情報は、本広告にて明示いたします。 ※現在の敷地面積は川崎市へ提供する公園部分の面積を含む4,810.39㎡(実測面積)ですが、本物件お引渡しまでに4,521.75㎡になる予定です。

【予告広告】 本広告を行い取引を開始するまでの間は、契約または予約の申込、及び申込の順位の確保は一切できません。あらかじめご了承ください。(販売開始予定時期/平成26年10月下旬)



トラフ建築設計事務所「目黒本町の住宅」
Photo by Daici Ano